

## 歴史・人権・平和 日中不再戦



### 旧三菱炭鉱へ強制連行され労働させられた中国人を追悼

くつきり晴れて肌 慰霊碑（写真）は、寒い12月7日、日曜の午後です。中国から遺族を迎えて行われた強制連行・強制労働犠牲者の慰霊祭（第2回）がありました。名前を刻んだ88人です。



日本共産党飯塚市議  
川上直喜

ふくおか県央施設組合議会（11月26日）で武井政一組合長（飯塚市長）が、計画の見直しを表明しました。

①物価や人件費が高騰する社会情勢②ごみの処理量も人口や業者数の推移に伴って減少を理由にあげています。今後「処理能力など必要な事項の一部見直しを検討したのち、改めて公募」とのことです。

川上市議は、住民説明会の開催を要求し、「正しい情報提供に基づいた住民の視点からの見直し、つまり、事業費の縮減にもつながるごみ減量、地球温暖化対策に貢献できる新たな方向を本市として組合に提起すべきだ」と求めました。

# 事業費が増えるか、減るかはわからない



新ごみ処理施設事業（816億円）の見直しについて、「事業費の増減についてはわかりかねる」と市民環境部長が答弁。これを聞いても市長は答弁に立ちませんでした。川上直喜市議の一般質問に答えたものです。12月10日午後・本会議

飯塚市議会は江口徹議長が辞職しないため事態打開ができず、議会運営委員会と4つの常任委員会が引き続き、全面的に機能停止したままです。

12月10日、一般質問2日目終了後です。江口議長は議会運営に関する協議の場（非正規・非公開）で、議案の詳細な審査に不可欠な常任委員会への議案の割り振りをやめると再び言い出しました。

川上直喜市議は、議案質疑終了までに議長が辞職すれば正常化はすぐできると指摘し、議長を支える議員たちに「辞職を働きかけてほしい」と訴えました。

### ● 不正常な事態を固定

9月定例会の後にも江口議長は、辞職勧告決議を真剣に受け止めきれないまま辞職を表明せず、かといって、事態打開への気力も失ったまま、ただ漂うように漫然と9月議会に続いて12月議会でも、議案の詳細な審査のために必要不可欠な常任委員会の付託を止めようと言いました。

これは不正常な事態をなにし崩し的に固定させようとするものです。

### ● 事態打開へ議長辞職を

しかし、議会運営委員会と4つの常任委員会の全面的な機能停止をダラダラと、このまま2年間も議員任期終了まで続けるわけにはいきません。

事態打開のために遅くとも12月議会↓辞職勧告決議を紹介しています。



▶ 江口議長に対する辞職勧告決議（9月議会）を受けとめよと、辞職を要求する川上直喜市議の発言を紹介します。12月10日午後・一般質問

## 川上なおき 活動日誌 12月4日～10日



- 4日Thu 暮らしの相談（大分地区で農地を現地調査）
- 5日Fri 暮らしの相談（現地調査2日目）
- 6日Sat 12.8平和のアピール行動に参加（芳雄橋東）
- 7日Sun 旧三菱炭鉱中国人強制連行・強制労働受難者慰霊祭（平恒）
- 8日Mon 一般質問・議案質疑の準備
- 9日Tue 本会議・暮らしの相談（トイレ修理・消火栓・街路樹）
- 10日Wed 本会議（一般質問）